

西 ～にし～

Good News 特集号

■第五商業高等学校（全日制）『都立高校学カスタンダード』推進協議会実践報告

平成30年6月21日（木）午後3時30分から、ルネこだいら（小平市民会館）にて、「都立高校学カスタンダード」推進協議会が開催されました。平成26年度より実施されている「都立高校学カスタンダード」事業は、5年目を迎えます。本校は、実践報告例として、主幹教諭下村恵子より、学力向上の組織的な取組についての発表を行いました。

本校の過去4年間の学力向上に向けた取組として、朝学習の実施、定期考査問題や授業進度の統一化、大学進学指導計画「白き翼」、外部模試の活用、教育課程の変更など説明しました。

また、次期学習指導要領を見据えて、平成27年度からの2年間には、学校全体での授業力向上を目指して行った、主体的・対話的で深い学びの研究開発としての取組も発表しました。この取組では、平成28年度、各教科からの代表としての約20名の教員が、年間で約20回の研究授業を実施するなどしました。これらの成果をまとめた120ページの冊子「研究紀要」や、全生徒に配布した100ページの学習の手引き「学びの羅針盤」も紹介しました。この「学びの羅針盤」は毎年改訂を加えて、今年度には、健康面でのアドバイスや、推薦図書として五商の250冊なども掲載し活用しています。

都立商業高校は今年度よりビジネス科に改編しましたが、本校は更に教育課程を大きく変更しました。一日7限、各45分授業、週35コマの時間割、ノーチャイム制の導入、「ビジネスアイデア」「英語論理表現」の先行導入、3年教養選択科目には昨年度に設置した「中国語」に加えて「韓国語」を追加しています。また、平成26年度に委員会組織としてスタートした「白き翼」は、学校全体の生徒の学力レベルの向上や大学進学希望者の増加に伴い、統括組織を進路指導部へと移管し、全教員で行う、全生徒対象の指導体制へと変更して実施しています。

さらに、高大接続改革も視野に入れて学習クラウドサービス（Classi）を導入しています。Classi活用の校内ルール作りなどは、各分掌・各学年からの代表としての若手教員が中心となり検討しています。高大接続改革への対応としてのeポートフォリオシステムを活用した学習記録と進路活動への活用が目的です。現在は、学習動画、Webコンテンツなど、授業の事前学習や復習、発展・応用レベルの学習に活用しています。



このように、共通教科の学力を向上させ、専門教科を充実させることで、高度資格取得につながり、結果として、生徒の希望進路の高いレベルでの実現へとつながります。教育内容を更に充実させながら、生徒の知的好奇心・探求心を高めていきたいと思えます。



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468